

観光促進をめざした横浜MaaS『AI運行バス』実証実験を開始

～「AI運行バス」で移動利便性向上と地域経済活性化をめざす～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)は、横浜市^{※1}と共同で、横浜MaaS『AI運行バス[®]』実証実験を開始します。これは、スマートフォン等で観光施設、グルメスポットやイベント情報の検索ができ、そこまで行きたいときにダイレクトに移動できるオンデマンド乗合交通「AI運行バス」を、一般モニタが体験できる実証実験です。期間は2018年10月5日(金)から2018年12月10日(月)まで、みなとみらい21、関内エリア周辺で実施します。

本実証実験では、リアルタイムで最適な車両・ルートを導き出すAI配車機能に加え、店舗・商業施設がブログ感覚で、施設情報の告知や集客のためのクーポンをリアルタイムに利用者に伝える情報配信機能を統合し、MaaSプラットフォームへ進化させた「AI運行バス」を運行します。また、250を超える観光・グルメ・アミューズメント等の商業施設との連携により、エリア内の回遊性向上の効果を検証します。

観光や生活における多様な移動の社会課題の解決には、便利かつ効率的な移動手段の提供が必要であり、近年、鉄道やバスなどの異なる移動手段を統合し提供するMaaS(mobility as a service)が課題解決に繋がるとして注目されています。本実証実験は、移動手段に加え、商業施設のサービスを、MaaSプラットフォームとして統合することで、交通と商業施設の連携を促し、交通需要増大および商業施設の売上向上につなげ、結果として、移動の社会課題解決を狙う実験です。

NEDOは、AIの社会実装の実現に向けた研究開発プロジェクト^{※2}を今年度から開始しました。「AI運行バス」の運行は、そのプロジェクトの一環である「人工知能技術を用いた便利・快適で効率的なオンデマンド乗合型交通の実現」の実証実験として実施するものです。

横浜市では、AI・IoT等により新ビジネス創出を促進する「I-TOP 横浜」の取り組みにて、まちの回遊性向上ならびに商業施設への送客効果による経済の活性化、賑わいの創出をめざす「まちの回遊性向上プロジェクト」を立ち上げました。本実証実験はこのプロジェクトの一つとして実施するものです。

ドコモは、今後も、AI・IoTにより、未来の移動需要^{※3}を見える化し、様々な移動手段の効率的運行による交通全体の最適化と、移動×サービスによる新たなビジネスの創出により、移動の社会課題の解決、利便性の向上、地域経済の活性化に貢献してまいります。

なお、本実証実験は、JR東日本主催のモビリティ変革コンソーシアムDoor to Door推進WGにおける「Suica認証による交通事業者・デマンド交通・商業施設の連携に関するMaaS実証」と連携して実施します。

※1. 本取り組みは、横浜市とNTTで2018年7月31日に締結した「官民データ活用による超スマート社会の実現に関する包括連携協定」の取り組みの一つとして実施します。

※2. 本取り組みは、NEDOの人工知能技術の社会実装に向けた国家プロジェクト「次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発(実施予定期間:2018年度~2022年度)」の取り組みの一つです。

事業名:次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発/人工知能技術の社会実装に向けた研究開発・実証/人工知能技術を用いた便利・快適で効率的なオンデマンド乗合型交通の実現

委託先:株式会社NTTドコモ、株式会社未来シェア、国立研究開発法人産業技術総合研究所

※3. 近未来人数予測[®]はNTTグループのAI技術「corevo[®]」を活用しています。

*「AI運行バス」、「近未来人数予測」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

*「corevo」は日本電信電話株式会社の登録商標です。<http://www.ntt.co.jp/corevo/>  corevo

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

NTTドコモ IoTビジネス部 榎島、中嶋、服部
TEL:03-5156-3200

NEDO ロボット・AI部 登、柳本、金山
TEL:044-520-5241

横浜MaaS『AI運行バス』実証の概要

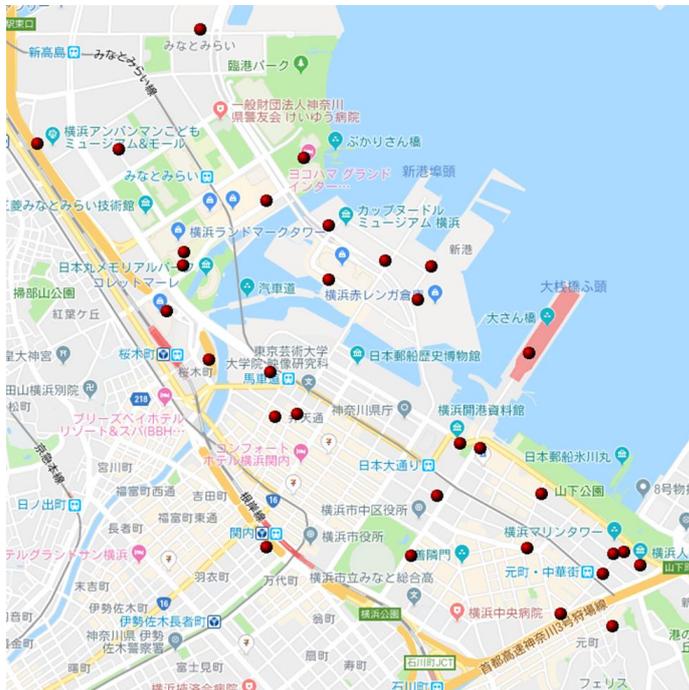
1. 実証概要

- 実施期間 : 2018年10月5日(金)～2018年12月10日(月)
※ただし、2018年10月28日(日)は横浜マラソン開催のため、運行を休止します。
- 実施エリア: みなとみらい21および関内エリア
- 乗車料金 : 無料
- 運行時間 : 10:00～21:00
- 車両台数 : 10台 (4～6人乗客定員のタクシー車両)
- ターゲット : 観光客を中心とする来街者

2. 実証協力企業・団体・開催イベント一覧(敬称略)

- 神奈川県タクシー協会横浜支部
- 250以上の店舗、商業施設、宿泊施設、観光施設など
- クルーズポート・ナビゲーション
- 横濱 JAZZ PROMENADE 2018

3. 『AI運行バス』乗降ポイント一覧(31ヶ所)



- 乗降ポイント (31)
- ・ みなとみらいグランドセントラルタワー
- ・ 横浜アンパンマンこどもミュージアム
- ・ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルノバシフィコ横浜
- ・ 横浜ベイホテル東急
- ・ 横浜ランドマークタワー
- ・ 横浜ロイヤルパークホテル
- ・ 横浜みなとみらい万葉倶楽部
- ・ JICA横浜 (海外移住資料館)
- ・ ニューオータニ横浜プレミアム
- ・ 横浜桜木町ワシントンホテル
- ・ みなとみらい線 馬車道駅
- ・ 横浜平和プラザホテル
- ・ ホテルルートイン横浜馬車道
- ・ シルク博物館
- ・ 横浜情報文化センター
- ・ ホテルモントレ横浜
- ・ タイワロネットホテル横浜公園
- ・ ホテルメルパルク横浜
- ・ 横浜人形の家
- ・ みなとみらい線 元町・中華街駅
- ・ 横浜元町ショッピングストリート
- ・ 横浜赤レンガ倉庫
- ・ 横浜港大さん橋国際客船ターミナル
- ・ 横浜中華街朱雀門
- ・ 横浜ワールドポーターズ
- ・ 横浜開港資料館
- ・ MARINE & WALK YOKOHAMA
- ・ ホテルビスタプレミオみなとみらい
- ・ ローズホテル横浜
- ・ イセザキ・モール
- ・ 横浜マリンタワー

4. 「AI運行バス」が提供する価値

① 観光客にとっての価値

(Point.1) 交通手段を調べる必要なし！ 簡単移動・お得な旅行。

- ① 観光情報を見る→“バスを呼ぶ”で目的地まで連れて行ってくれる。ルートやダイヤを探す必要なし！
- ② オンデマンドかつ最適ルート運行のため、自分のペースで、観光スポット間を移動できる！
- ③ リアルタイムな観光情報や、お得なクーポンを獲得でき、お得に旅行を楽しめる！



② 商業施設にとっての価値

(Point.2) 来街者の情報が分かる。来街者に合わせた発信ができる。

- ① 来街者の人数・属性、自施設情報の閲覧状況等を把握可能。
- ② 来街者の状況にあわせ、施設情報をリアルタイムに発信可能。

③ 自治体にとっての価値

(Point.3) 自然災害発生時、来街者の人数 = 影響度を把握できる。

5. 「AI運行バス」アプリケーション概要

※アプリケーションのダウンロード・ご利用方法は、<https://yokohama.ai-bus.jp/> をご参照ください。

6. 商業施設用パートナーポータルサイト概要

<h3>① 利用状況把握</h3>  <p>自施設ページの閲覧人数、クーポン利用枚数といった利用状況を確認できます。また表示期間や表示単位を指定した上、グラフデータを作成し、ダウンロード可能です。</p>	<h3>② 店舗情報管理</h3>  <p>下記情報編集を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">①施設名②施設説明文③カテゴリ④営業時間⑤施設画像⑥その他、クレジットカード利用の可否など
<h3>③ クーポン情報管理</h3>  <p>下記情報編集を行います</p> <ul style="list-style-type: none">①クーポン優待内容②クーポン利用条件③クーポン揭示条件④クーポン期限	<h3>④ 性別・年代毎の人数把握 (近未来人数予測)</h3>  <p>性別・年代ごとに、近郊の人数分布を閲覧できます。A I を利用し、現在だけでなく、近未来の人数も予測します。よりターゲットを絞った店舗情報発信のための、編集を可能にします。</p>

以上